



鉄道で行く千葉

第13回

京成千原線

Keisei chihara Line



京成千原線をちはら台方面に向けて走る京成3000形車両(千葉寺駅～大森台駅間)



Keisei Chihara Line

京成千原線は、千葉市の千葉中央駅から市原市のちはら台駅を結ぶ10.9km、単線の路線です。

千葉中央駅で、京成千葉線にそのまま乗り入れており、実質的には京成千葉線の延伸線として営業しています。

京成千原線は、1992年(平成4年)に千葉急行線として大森台駅まで開業し、1995年(平成7年)にちはら台駅まで延伸開業しました。

この路線はもともと、市原市を主に通る小湊鉄道が1950年代後半に免許申請した路線でしたが、千葉市南東部・市原市北部にまたがるニュータウン計画にともなって、第三セクターの千葉急行電鉄が引き継ぐ形で開業に至りました。その後1998年(平成10年)には、京成電鉄に譲渡され現在の京成千原線となりました。

現在、すべての列車が各駅停車で、京成千葉線との直通運転を行っています。また通勤客で賑わう朝夕には、京成上野駅から京成本線・千葉線経由で乗り入れてくる列車もあります。

◆京成千原線の歴史

◎1957年(昭和32年)12月27日 小湊鉄道が地方鉄道業免許を取得。

◎1975年(昭和50年)12月20日 地方鉄道業免許が小湊鉄道から千葉急行電鉄に譲渡される。

◎1992年(平成4年)4月1日 千葉急行電鉄千葉急行線千葉中央駅～大森台駅間(4.2km)開業。

◎1995年(平成7年)4月1日 大森台駅～ちはら台駅間(6.7km)延伸開業。

◎1998年(平成10年)10月1日 京成電鉄に譲渡。同社の千原線となる。

現在活躍中の京成千原線の車両



3600形

1982年6月に登場。オールステンレス車です。同型の車両が2002年から芝山鉄道にリースされていました。



3500形

京成電鉄初のステンレス車両で、通勤型車両では最初の冷房車として1972年12月から製造されました。



3500形(更新車)

更新車は前面のデザインが大幅に変更され、下部には障害物対策で排障器(スカート)が設置されました。



3000形

2003年2月に登場。通勤型の主力となっている車両です。座席幅を従来の車両より20mm拡大するなど様々な改良が加えられています。



3300形

1968年に登場。1984年から1987年の間に冷房化改造工事がおこなわれ、当時は珍しい冷房車として活躍しました。



3700形

1991年3月に登場。3000形が登場するまで通勤型車両の主力となっていた車両です。



京成電鉄創立100周年記念列車
青電

ダークグリーンとライトグリーンの2色に塗装した車両。2009年6月30日から、21年ぶりに運行。



京成電鉄創立100周年記念列車

赤電

上半分をモーンアイボリー色、下半分をファイアーオレンジ色の2色に塗装し、帯にはステンレスの枠内にミスティラベンダ色を配した車両。2009年8月25日から、2年ぶりに運行。



京成電鉄創立100周年記念列車
ファイアーオレンジ塗装車両

ファイアーオレンジ色にモーンアイボリー色の帯が入った車両。2009年9月19日から、16年ぶりに運行。

大百池(おおどいけ)公園脇をちはら台駅方面に向かって走る、京成電鉄創立100周年記念列車「赤電」。
(学園前駅～おゆみ野駅間)

車窓からの風景

スペシャルビューポイント



タワーマンションと千葉県庁本庁舎！

京成千原線の車窓から見える最高の風景の一つ。列車が千葉中央駅を出て少しすると左側に、千葉県庁本庁舎とタワーマンションが並んで見えます。このマンションは地上43階、高さ151.5mの千葉セントラルタワー。時間によって太陽の向きが変わり、通るたびに違う表情が楽しめます。

京成千原線に乗って。

京成千原線の車窓から見える沿線の風景は、周辺が開発された歴史や路線の新しさの関係で、新しい住宅地やマンションの姿が目立ちます。

起伏のある土地を走っているため、路線周辺は、コンクリートの壁が続くかと思えば、いきなり広々とした住宅地が眼下に広がったり、うっそうとした森や田園が広がったりと、とても変化に富んでいます。



大森台駅を過ぎると、住宅地が途切れ、大きな森が左右に続きます。



学園前駅を出てしまふと、大きな大百池（おおどいけ）公園が左右に広がっています。



学園前駅を出ておゆみ野駅に向かう間、沿線には比較的新しい住宅地が広がっています。



千葉中央駅を出しばらくすると、列車は地面からやや高い位置を走り、右側遠方に千葉ポートタワーが見えます。



千葉寺駅を過ぎると、それまでのビジネスビルから大きなマンションや住宅地が並ぶ風景に変化します。



おゆみ野駅を出ると、左側に見えるイオンおゆみ野ショッピングセンター。2008年にオープンした大きなショッピング施設です。



列車がちはら台駅に差し掛かる手前。左側には稲作が行われている田園が広がっています。

途中下車して「京成千原線の駅」を楽しもう！

京成千原線の各駅舎のデザインは、他の京成線各駅と比べるとかなり異なり、千葉急行時代の面影が多く残っています。

千葉寺駅



休日になると、県立青葉の森公園に出かける多くの人もこの駅を利用します。

大森台駅



白い壁、丸い曲線の青い屋根が特長です。改札前の白い壁も印象的です。

学園前駅



個性的でユニークな三角屋根の駅舎。隣にはおしゃれな結婚式場があります。

おゆみ野駅



2002年(平成14年)に駅舎と駅前広場の景観設計が「土木学会デザイン賞」の優秀賞を受賞した、開放感あふれる駅です。

京成千原線で発見したお土産&お手軽グルメ！

千葉中央駅

marond(マロンド)

(千葉中央駅改札出て右斜め前)



●葉重(はがさね)
1箱(6個入) 1,100円(税込)

米粉と千葉名産のピーナッツを使ったサクサクとした最中。中はクラッシュピーナッツとレーズン入りのコクのあるクリームが入った、千葉でしか味わえない新食感のスイーツです。

千葉寺駅

パティスリー・ルミエール

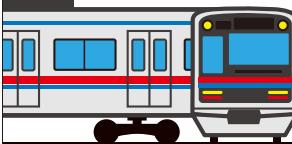
(千葉寺駅改札出て左、徒歩約2分)



●青葉の森のリーフパイ
1枚 165円(税込)

青葉の森公園の木の葉がモチーフのお店の一番人気。サクサクした歯ごたえに絶妙の甘さと香ばしさが特長です。

京成千原線の、家族で出かけられる遊び場情報



鉄道で出かけよう!

車窓からの風景や道草を思い切り楽しんだら、今度は本格的に遊べる場所を訪ねてみましょう。電車を使えばすぐに出かけられ、家族で思い切り楽しめるポイントをご紹介します。

千葉県立青葉の森公園

千葉市の農林水産省畜産試験場跡地に残された自然や地形を生かして作られた、自然鑑賞やレクリエーションのほか、文化・スポーツなどが楽しめる総合的な公園です。

広さは東京ディズニーランドとほぼ同じ53.7ha。その広大な園内は体を鍛えながらスポーツが楽しめる「スポーツゾーン」。広い芝生の上でお弁当を食べたり、遊んだり、お花見もできる「レクリエーションゾーン」。昔ながらの里山を残し、自然とのふれあいが楽しめる「ネイチャーゾーン」。千葉県の自然や歴史が楽しめる県立中央博物館など、芸術や文化とふれあうことができる、「カルチャーゾーン」の4つのゾーンに分かれ、ご家族連れで一日ゆっくり楽しむことができます。

お子様連れに特におすすめなのが、わんぱく広場がある「レクリエーションゾーン」。春は、さくら山やおはなみ広場でお花見。夏は、水の広場で水遊びも出来ます。



○わんぱく広場
木製の遊具があり子供たちの遊び場として人気です。自由に遊べる広々とした芝生の広場です。



○彫刻の広場
大きなものから、小さなものまで個性的な彫刻を見ることができます。



●開園日／年中無休
(公園内の各施設の利用時間は、それぞれ異なります)

●交 通／「千葉寺駅」より徒歩約10分

●駐車場／あり(北口・南口・西口) 午前6時～午後10時

普通車は4時間まで300円、4時間を超える場合は600円、以降1時間ごとに100円

・北口駐車場 普通車 127台
・南口駐車場 普通車 312台
・西口駐車場 普通車 144台

●問い合わせ／青葉の森公園管理事務所 043-208-1500

●住 所／〒260-0852 千葉市中央区青葉町977-1

●公式サイト(<http://www.cue-net.or.jp/kouen/aoba/>)

公園のほぼ中央に位置する、約2.3haの芝生広場で、プラタナスやヒマラヤスギなどの大木が植えられ、きれいに整備されています。早春に咲くカワヅザクラなどの早咲きのサクラも見所の一つです。



○青葉ヶ池
周囲を樹木で囲まれた青葉ヶ池では、散策路も設置され水辺の鳥や植物を身近に観察できます。



○県立中央博物館
千葉県の自然と人間をテーマにした「千葉の立体百科図鑑」ともいえる施設です。常設展示では房総半島の自然と歴史のおもしろさが楽しめます。

写真提供・撮影協力／marond(マロンド) パティスリー・ルミエール 財団法人千葉県まちづくり公社

駅前発見!
探してみよう!

学園前駅前近くにある
「地層の壁」貝塚!!

学園前駅を降りて、改札を出たら右へ。ロータリーに沿って右に進むと50mほど先。結婚式場の脇の道を入って約30m。すると正面に不思議な模様の大きなガラスの枠。近づいてよく観察してみると、なんと「地層の壁」と名づけられた貝塚。千葉市内の泉ヶ丘公園の東側にある六通貝塚の貝層断面を剥ぎ取ったものが展示されています。上層部が約3000年前、下層部が約4000年前のものです。



調べてみよう!
京成千原線クイズ?

千葉寺駅近くの洋菓子店
「パティスリー・ルミエール」
で、木の葉がモチーフのお菓子の名前は?

1. 青葉の森サブレ
2. 千葉寺最中
3. 青葉の森のリーフパイ

※正解は次号紙面で!

※前回のクイズの正解:京成津田沼駅
改札前のレストラン街にあるタケ
ちゃんで食べられる一押しのグルメ
は「2・5目ヤキソバ」でした。

2010.10(次回発行) / 2010年11月24日)



京葉銀行



この冊子の印刷には、
環境に配慮した植物性インキを
使用しています。

